

からだの しくみを知ろう

ウイルスと細菌って違うの？



臨床検査技師 甲斐 美矢子

インフルエンザが流行しています。手洗い、うがいをこまめに行いましょうね。

今回は、ウイルスと細菌の違いについてです。簡単に言うと、

自分の細胞を持っているのが細菌で、持っていないのがウイルスです。細菌は、人間の体の中に入ると、人間の細胞に取り付いて栄養を吸い取り、人間の細胞を壊してしまいます。そして、細菌自身が細胞分裂を行い仲間を増やしていきます。

ウイルスは、細菌よりずっと小さく、自分で細胞を持っていません。ウイルスは、人間の体の細胞の中に入り込み、その細胞に自分のコピーを作らせて大量に増えていきます。ウイルスが大量につくられると、人間の細胞は破裂してしまいます。そして、ウイルスが外に飛び出してほかの細胞に入り込んでいくのです。

細菌は、自分で細胞を持っているので、細胞を壊す薬を使うことができます。それが抗生物質です。

ウイルスは、細胞を持っていないため、ウイルスを攻撃しようとする、入り込んだ人間の細胞を壊す恐れがあるため、抗生物質は使えません。ウイルスを抑えるためには、ウイルスの複製を抑える作用を持つ薬が使われます。細菌感染、ウイルス感染、どちらも手洗いはとても効果的です。また、バランスの良い食事、十分な睡眠、休養などをとり、感染しても体内で増殖させないように心掛けることも大切です。